

压榨機シリーズ



- 油圧压榨機
- ろ液回収式压榨機
- 高圧型油圧压榨機
- 油抽出機



油圧圧搾機

弊社の圧搾機は和菓子業界、水産加工業界、農業業界、酒造業界、化学薬品業界などに対応しております。

過去販売実績1200台以上 貴社の仕様用途に合わせて最適な仕様を提案します。



標準圧搾機 接液部ステンレス製



チェーンブロック吊上昇降装置付



キャスター移動式

用途

農産物 → キャベツ、白菜、野菜類の脱水機、食品残渣減容機として

水産加工 → イリコ、鰹節、わかめなどの出汁回収機、乾燥前脱水機として

搾汁 → 果物や果実の果汁搾り機として、搾汁、リキュールづくり、
ジュースーとしてご活用いただけます

特徴

1. 作業者の負担削減が可能
2. 人的コストの削減（年間を通した人件費を大幅に削減できます。）
3. 他社製に比べても性能の良い部品にこだわっているため、故障が非常に少なくメンテナンスもほとんどいりません。

圧搾可能食材（例）

りんご、カボス、あんず、みかん、ぶどう、グレープフルーツ、梨、ラフランス、パイナップル、ブルーベリー、マンゴー、メロン、柿、キウイ、イチゴ、スイカ、さくらんぼ、はっさく、レモン、ゆず、桃、イチゴ、文旦、いちじく、アボカド、ライム、ライチ、アセロラ、バナナ、その他柑橘類、リキュール原料、キャベツ、白菜など野菜類全般、その他食品残渣等にも対応できます。

仕様選択項目

1. 材質：全ステンレス製 or 接液部のみステンレス製
※（全ステンレス製もシリンダ部分と油圧ポンプ本体はSS400使用）
2. 絞り箱の前部を扉開閉にするかどうか全面開く構造も可能。
3. キャスター式 or キャスター無し （キャスター有の場合は拡張ベッドが必要になります）
4. チェーンブロックで絞り箱内の袋を吊る装置の有無
5. 基本仕様は面圧8kg/cm²です。（さらなる高圧が必要な場合はテスト必須）

■オプション

- ・自動計量装置の有無（ロードセル）搾り前と搾った後の重量の自動計測
- ・安全柵、人的事故防止安全センサー機能の有無
- ・搾り箱手動移動式、搾り箱の自動移動式の有無
- ・リモートコントロール、圧力自動制御の有無
- ・リフターで搾り箱を運べる仕様の有無



扉の開閉有（上部1段の場合）



安全柵、自動計量装置付



フォークリフト運搬可能型

圧搾機容積と搾り箱内寸法

	A1型		A2型	B型	C型	E型	F型
箱容積	550kg		480kg	400kg	250kg	170kg	90kg
搾り箱寸法	幅	760mm	760mm	700mm	550mm	480mm	450mm
	奥	900mm	850mm	760mm	730mm	630mm	530mm
	高さ	820mm	760mm	700mm	640mm	600mm	460mm

圧搾機本体寸法

	全高	全幅	全奥行	重量	1.5馬力
A1型	2800mm	1300mm	1200mm	1.8Ton	1.5馬力
A2型	2700mm	1300mm	1200mm	1.5Ton	1.5馬力
B型	2500mm	1200mm	1200mm	1.5Ton	1.5馬力
C型	2400mm	1100mm	1100mm	1.5Ton	0.75馬力
E型	2300mm	1100mm	1100mm	1.2Ton	0.75馬力
F型	2200mm	1060mm	1100mm	1Ton	0.75馬力

ろ液回収型油圧圧搾機

果物や果実の果汁搾り機として、搾汁、リキュールづくり、ジュースー、としての活用できます。また海産物、農作物用の圧搾機や化学薬品、化学原料のエキス抽出など用途は様々です。

コールドプレス手法（熱が全くかからない）により質の高い新鮮で美味しいジュースを製造することが可能です。

ろ液回収型圧搾機（絞り機）の特色

1.低温圧搾なので熱がかからない。

スクリー式の搾汁機などは熱がかかりますが、この圧搾機は一切温度があがりません。熱による食品の劣化などがなく圧搾後も新鮮な状態を維持することができます。

圧力変動誤差は3%以下、圧搾した後の、含有水分は常に一定です。

2.圧搾物の出し入れがカンタン。

搾箱は前開きになっており（前後両開きもあります。）押え盤は前後に動きますので、搾袋の出し入れが容易です。

3.メンテナンスがほとんどありません（定期的な油交換のみ）で掃除がカンタン

定期的なメンテナンスもほとんど必要がなく、掃除も水で流すだけ！

4.前後工程の機器に合わせた機器の仕様に変更可能

液回収タンクにはバルブが付属しているので、後工程にポンプで送ることも可能。



ろ液回収型圧搾機A-1型



タンク2段型



丸形ろ液回収型圧搾機



丸形ろ液回収型圧搾機

高圧型油圧圧搾機

近年、産廃コストの上昇や企業に求められる環境への配慮や、廃棄物から水分を脱水し、廃棄コストを削減したいとの要望が増えております。

用途 食品残渣、葉物類、野菜などの脱水

標準圧搾機の全圧力は30トン程度ですが、高圧の場合30トン～800トンまでの機器を販売しております。

※圧力の基本的な計算方法

面圧（1cm²あたりにかかる圧力）

= シリンダ半径×シリンダ半径×円周率×油圧ポンプ圧力÷搾り箱幅÷搾り箱奥行き÷円周率

（搾り箱の幅×奥行きが広くなると圧力は弱まり、シリンダ径を大きくするほど圧力は大きくなります。）



高圧型A-1圧搾機 容積600L 接液部ステンレス製

特徴

1.水分脱水力が高い、高圧力

対象物に高い圧力をかけるため、脱水率が高い。

この脱水機は特殊なシリンダを利用することで、仕様によって変わりますが最小20トン～最大800トンもの高圧力がかけられる機種まで豊富な品ぞろえがございます。

2.機械導入による投資効果、費用対効果が大きい。

脱水機の導入にかかる費用に比べて廃棄コストにかかる費用を考えた場合、短期間で回収することが可能。

産廃コスト削減金額：例

1日5トンゴミが出る場合 生ごみの処理にかかる費用（kg単価23円とする）※大阪市廃棄処理料金参考

	1か月	1年間	5年間	10年間	20年間
脱水せずに廃棄した場合	138万円	1656万円	8280万円	1億6560万円	3億3312万円
脱水後廃棄した場合	27万円	331万円	1656万円	3312万円	6624万円
機械導入によるメリット	111万円	1325万円	6624万円	1億3248万円	2億6千万円

環境経営
に貢献

油抽出機（コールドプレス式）



油抽出機 標準仕様 10L用

サイズはご希望のサイズに合わせて製作も可能です。



画像はイメージです

用途

アーモンド、クルミ、エゴマ、ごま
ピーナッツ、マカダミア油、アマニ油
ツバキ、カボチャ、ヒマワリの種など

処理能力： 投入量：10kg（圧搾時間は約30分程度）
搾油量30%～40%（原材料により変動します）

外形寸法： 横幅880mm/奥行き400mm/高さ1415mm

重量： 670kg

付属品： ろ布3枚 キャスター付も可能

コールドプレス式は「低温圧搾」と呼ばれるものです。

近年、「低温圧搾法」「コールドプレス」という言葉はよく使われるようになりましたが、「何度以下がコールドプレス」という定義がありません。つまり、60度でも100度でも製造者が以前搾油していた温度より低いだけでも、低温圧搾と呼ぶことができます。

弊社の圧搾機は全く熱がかからない機構で圧搾物の温度そのままでの圧搾が可能であり、エクスペラーといわれるスクリュウ型の搾油機とは違い熱が発生しないため高品質の油が抽出できます。